

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	りんくⅡ		
○保護者評価実施期間	年 月 日		年 月 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	0	(回答者数) 0
○従業者評価実施期間	2026年 1月 26日		2026年 2月 13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・見守るだけでなく、児童に寄り添い、一緒に取組み、共に楽しむことで児童が安心して過ごせる場を作ることができています	・児童と共に活動することで、児童の言動などから小さな変化にも気づけるように意識しています	・個々の特性を把握して、対応していきます
2	・毎月のプログラムを職員全員で意見を出し合い、固定化しないように工夫しています	・児童が興味を持っている事や物をリサーチして、プログラムに取り入れています	情報感度を高めています
3			

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・身体を思い切り動かすことができる空間が少ないように思う	・個別室を多く設備しているためだと思います	区分されている室内でも活動できるようなプログラムを取り入れたり、可能な限り室外活動を実施していきます
2	・家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)や家族が参加できる研修などの情報提供を実施できていません	・家族支援プログラムの体制が整っていないこと、家族が参加できる研修などの情報収集不足のためだと思います	・今後は、保護者のニーズを把握し、必要に応じて情報の収集を行い、発信していきます
3	・実践できる研修が少ない	・年2回実施される法人内集団研修に参加することが難しい状況と、事業所独自の研修が実施されていないためだと思います	・事業所内研修で、動画研修だけではなく、実践研修も取り入れて、職員が参加しやすい環境を整えていきます